

千葉県木更津保健所

事業概要

自昭和十七年一月
至昭和十七年十二月



国立保健医療科学院蔵書



10012103

P-D
昭17
12A

P-D
昭 17
12A

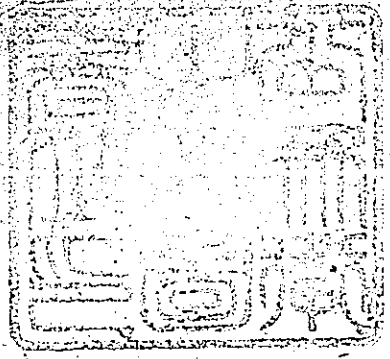
JH
17
2

事 業 欄 西 女 (到 昭 和 十 七 年 十 二 月)

千 葉 縣 木 更 津 保 健 所

昭和十七年三月二十二日
千葉縣木更津保健所
寄
厚 産 婦 産 科 部

JH
17
2



緒

国力増強の第一歩たる人口の増強が全国各層の間に取り争がられ、認識せられて来た事は吾々も此道の指導者に最も慶はしき事と、平時をうばふを得るであらうが、現在は斯かる事を喜ぶ違はなぬ。一意専心各人其の立場に於て全力を尽すのみである。保健所の事業は愈々其の重要性を示して来たと云へば、吾々の力の足らざるを恥がるものではあるが、爲し得る最大の奮勵努力を尽して居ることに依つて吾々に此へられた是れ我れを全小したと今心願してゐる。戦の最中に此の年報を制作することは互に努力の結果を交換して我々の事業の長を採り短を補ふつ、其

の完壁を期せんが爲に外ならぬ。以て若し此に於ては、其他の参
考とすると共に、當所の事業の短所を御忠告御指
導賜はる人士の御声援を得ば幸此の上もなほと存
する次第である。

尚紙質不足の折柄説明も簡略となり又重要
性少なきものは割愛したと矣御諒察に預り度い。

人口動態

最近管内の出生死亡乳児死亡の表を掲
げるが、其の説明は略す。

只、実数を示さぬのは所謀上の關係を考へる爲
である事だけは断りして置か度い。(グラフ(一)表(一)参照)
其の死因別は第2表通りであるが一昨減少
の傾向ありし結核が明らかに増加してゐる。(昭和一四年
一、二、九 同、一五年一、〇、八五 なるに 同一六年一六、九三 同
一七年一八、〇二)事は憂慮すべき問題である。之の対
策は帰郷者(転入者)及結核患者家族の検診
一処理に重点を置くべきものとされて居る。

其他増加せるものは農村の特徵たる腦溢血があ
る。又老衰に依る死亡の増高も此の腦溢血と共に

に戦害の長期化の影響を受くる一時的の現象ではありが忍せにはし得ない。之の年、問題は農村の労働生活を(栄養問題を含む)合理化し其能率を増進に依って休養を得て疲労恢復を計る事と以て解決し得るのではなからうか。此の意味で當所の仕事は農余産業組合等と連繫を密にし直接に生産力を拡充する一分野としての保健指導に重点を置いて居る。

事業概括

當所事業の概括を表示すれば、第3—7表。如く集會数九九回、參會者五九〇三人、印刷物配布数一五四五、家庭訪問数一四〇一、諸検査数四〇三八七件、健康診断数一八五五九名、集団的健康診断一三四五六名に達してゐる。其他第19表に示す如く諸種の予防注射は一三〇二四名に直接行って居り、其他町村自体に施行せしめられたるを合すれば、約四二〇〇〇名に達する。(第3—7表参照)

一、思想涵養

單に保健所より直接民衆に呼ぶ掛ける思想普及のみにしては充分な事なうことは言ふ俟たぬ所

であつて、當所に於ける事業として隔月青年指導者講習會を開催し、學校教員其の他青年團指導者等毎回五〇名内外の參集を得、保健衛生全般に亘る講習を行ひ、各自其の教材を以て青年學校生徒の指導を行はしめた。

又別に厚生研究會を設置し、隔月一回宛町村衛生主任に參集を齎め各自、町村に於ける具體的指導方法を討議すると共に、其の衛生智識を高め、る方法を取つて居る。之に依つて保健所の手足を確保して斯の事業を一般民町村民に滲透せしむる一助となして居る。(昭和十八年度に於ては此の外町村に配置せられたる保健婦が十二名に達せる爲之を毎月招集して指導方法の統一並に研

果の發揚に努める事が出来た。)

二、榮 養 の 改 善

栄養に関する講習講演等は其の回数十八回來集者一三六五名に止るが戦時下能率増進を第一義とする農繁期共同炊事は郡農會と共同指導し其の數春季秋季共八ヶ所に達し、常設共同炊事場は設置数八ヶ所である。

趣を変へて此の中不成績なる一部落に就き、炊前後の健康診断を行つた結果、八表を示すが、之は同部落に於ては労働年齢階級の者のみを揆定して共炊を行つたものであつて其の失敗なることを明かにし得たものである。勿論最初の健康診断の當時疾病ある者に対し適當の指示を與へた爲共

炊後の治癒又は軽快者は一七名を数へるが發病者乃至増悪者は三一名の多きに達して居る。只一、同部落には十二指腸炎病が一名しかつたことは當時管内には珍しい事として附記して置く。而して其の原因は各戸に数十年前より肥料溜が完清して居る為と推察して居る。(第八表参照)

三、母性乳幼児

定期的健康相談は一般健康相談と同時に行はれて居るが其の数は第九表にある如く乳幼児は一、二、三、八妊婦、四一であつた(但し昭和十八年度に亘り妊産婦届出制の影響等により妊婦は著しく増加してゐる)第十四表参照此の外各所村の体力法に依る乳幼児は体力検査に際し保健婦が出張指導と相當の勤勞をこなす

けた様である。其の際二六三一名の母性に關して、第一〇表の如き調査を行ひ出産速度の早きこと、初婚年齢の若き事等を知り得た。第一〇表参照

又毎月一回乳児特別指導を行つて居るが、其の成績は前年に報告した通り六ヶ月を超えた乳児に著しい効果は現はれて居る。即ち現木更津市内の人工混合栄養乳約二〇〇名を対象として、個々の發育状態を見て適當量の砂糖配給証明を與へると同時に適切なる指導を行つたのであつて同一人が二ヶ月に一回は必ず保健所に來所せねばならぬ機構になつて居る。第一一、一二表参照

尚体力検査に依る成績は第一三、一四表の如くである

四、疾病予防

一般健康相談は第一五表に示した成績であつて前年より約一〇〇〇名の減少を来して居るのには逆上集團に対する健康診断第一六表に於て五〇〇〇名程増加を来して居る事により當所の方針が何処に^{向つて}進められて居るかと思考する。即ち保健衛生啓蒙^{啓蒙}の可き一般住民の自由意志に俟つて來る健康相談は宣傳効果以上のものは余り望み難く斯る自由主義的考へ方を漸次棄て積極的に保健所の判断力に依つて対象を模定し得る集團の健康診断に移り行きつゝある爲である。但し健康相談來所者中結核性疾患及健康者が其の半数以上を占めて居る事は吾々の努力の成果である。

考へる。即ち健康診断の必要を説き、又結核性患者家族を招致し事毎に重点を結核に置き、宣傳と実践を合せ実施して居る事之である。(第一四一五表参照) 急性伝染病は町村當局を最も悩ますものであつて其の損失は結核に比し少なしとは雖も忽せし得ぬ問題の一つである。其の発生率は第一七、一八、一九表に示す如くである。

又各種の予防注射は第二〇表の様に行はれた。當所が直接手を下した範圍以外當所が斡旋によつて町村自体に実施せしめたものを合すれば腸チフスの如きは三五〇〇〇人に達する。第二〇表参照

特別指定地区事業

一、結核予防模範地区事業

管内高津所を結核予防模範地区として昭和十七年五月二十一日結核予防會の業縣支部より指定せられ基礎調査、生活調査、移動状況調査、全所概健康診断等、結核患者乳幼児其他、全面的指導を行つてゐるが其の成績中集団検診者のみを此処に登載する

尚此仕事に關しては昭和二医專生五氏の應援を得ることが出来た事を感謝する

當所の人口は五四三〇であつて之が第一区より第八区迄八区に分れ大部分は漁業が主であるため所民性粗暴無智の者多く統制を摂る

為には可成の困難を予想せられたものであるが現在大なる支障なく事業を継続してゐる。(第一、二表参照)

二、健民特別指導地区

昭和十七年十二月二十四日中郷村が厚生省より健民特別指導地区に指定せられ保健衛生各般の事業実施の緒に付いて居るが之又僅かに一部、集団検診成績のみを示すに止めて置く。此の事業には衛生課関係の多くの職員、君津校同病院(現在 木更津綜合病院)の援助を得、又厚生省主催保健所技師講習會の現地演練地として実地訓練が行はれ多くの資料を與へられたことを感謝する次第である。 第一、二、三、四表参照

昭和18年
事業概要

統計表

(本文参照)

職員名簿

職名	氏名	名	発令月日	摘要
所長技師	相良	貞直	昭和一四、四、二二	昭和一六、九、二〇應召解除一、三〇再任中
所長技師	高田	美正	一四、四、二四	所長不在中縣庁衛生課ヨリ転勤
千葉縣屬	高安	一郎	一三、八、一三	
縣技手	近藤	富士子	一七、六、一	
嘱託	大岩	功	一七、一、三〇	
保健婦	前田	裕	一七、一、三〇	
全	佐治	たか子	一三、五、二五	
全	松本	晴子	一六、二、一七	
全	三枝	よ志	一六、六、四	
全	安田	瑞穂	一七、三、六	
全	堀切	美代	一五、一〇、一	昭和一七、八、一七退職
全(備看護婦)	吉田	はる子	一七、九、一七	
細菌助手	植竹	平作	一七、五、二六	

表-1 出生 死亡 死産 乳児死亡率

地域	年次	昭和4-13年	昭和16年	昭和18年
		10ヶ年間		
出生率 对本籍人口 1000	山間	30.02	30.81	28.92
	農村	29.59	28.80	22.79
	海岸	30.45	30.28	33.43
	計	30.05	29.80	28.68
死亡率 对本籍人口 1000	山間	19.96	19.56	17.29
	農村	18.84	15.69	12.66
	海岸	19.36	15.68	16.68
	計	19.26	16.30	15.25
死産率 对本籍人口 10000	山間	16.97	13.36	13.49
	農村	14.79	12.65	7.37
	海岸	14.52	12.62	11.48
	計	15.04	12.73	10.24
乳児死亡 对本籍人口 10000	山間	32.51	27.30	20.42
	農村	34.13	20.31	16.27
	海岸	34.91	21.30	27.50
	計	34.23	21.88	22.11
乳児死亡率 对出生 100	山間	10.82	8.86	7.06
	農村	11.52	7.05	7.14
	海岸	11.48	7.03	8.23
	計	11.39	7.34	7.71

表-2

病類別	昭和十七年		昭和十六年		昭和十七年		計
	山間	海岸	山間	海岸	山間	海岸	
一般傳染病	11-12	10	8.58	6.79	1.2	8.93	16.93
結核	13	13	8.70	8.36	1.52	9.52	15.52
梅毒			0.45	0.20	0.91	0.91	1.82
其他傳染病	13	13	2.16	3.40	3.56	0.95	8.52
瘧疾	13-19	23	9.03	8.19	8.22	0.22	10.99
傷寒	23	23	4.96	2.00	0.99	1.39	8.22
其他全身病	22-24	25	1.35	1.40	1.79	0.99	4.13
急性中毒	26-27	25	0.90	0.20	1.38	1.1	2.48
慢性中毒	28-29	30		0.20	0.62		0.62
腦膜炎	30	30	3.16	1.56	3.17	1.37	4.54
腦脊膜炎	32	32	7.08	7.77	2.92	6.02	8.94
其他神經病	33-35	35	2.26	2.50	1.10	1.83	3.93
其他神經病	36-43	37	7.71	7.26	7.57	6.39	13.96
心臓病	44	44	0.90	1.80	1.17	1.29	2.46
其他血管病	45	45	1.21	1.80	2.37	1.85	4.22
皮膚病	46	46	2.26	2.10	1.61	2.37	3.98
肺病	47	47	1.21	1.71	2.20	1.11	3.31
其他呼吸器病	48	48	2.26	2.10	2.20	2.78	4.98
胃十二指腸病	49	49	2.26	2.10	2.20	2.78	4.98
下痢及腸炎	50	50	2.26	2.10	2.20	2.78	4.98
其他泌尿器病	51	51	2.26	2.10	2.20	2.78	4.98
腎臟病	52-53	53	2.26	2.10	2.20	2.78	4.98
其他泌尿器病	54-58	59	1.73	1.99	7.98	0.02	9.70
糖尿病	60	60	1.81	0.96	0.96	0.91	1.87
妊娠症	61	61	0.90	0.80	0.44	0.41	0.85
產後症	62	62	0.90	0.80	0.44	0.41	0.85
皮膚病	63	63	1.33	0.20	0.32	0.45	0.77
骨運動器病	64	64	0.90	0.20	0.28	0.45	0.73
先天性畸形	65	65	0.90	0.20	0.28	0.45	0.73
先天性弱視	66	66	0.90	0.20	0.28	0.45	0.73
其他眼病	67	67	0.90	0.20	0.28	0.45	0.73
其他眼病	68	68	0.90	0.20	0.28	0.45	0.73
不明原因	69-84	85	9.44	7.79	6.51	5.02	11.52
計			8.58	6.79	1.2	8.93	16.93

表-3 集會

	内容	回数	人員
講演会	一般母子防	27	856
	中産婦心	1	200
	救急処置	10	1040
	養兒	6	520
講習	一般母子	12	820
	養	8	325
其他	結核予防	4	248
	育兒	30	1834
	合計	99	5903

表-4 印刷物配布表

	印刷物種類	配布部数
パンフレット	乳児ノ育ヲ才	881
	結核予防	470
	産婦ノ心得	200
リーフレット	救急処置	180
	養食ノ作リ方	250
	離乳期ノ食餌法	450
その他	腎臓病ノ治療法	162
	養兒ノ養育	180
其他	結核ノ療養	50
	一般母子生	610
	合計	12018
	總計	15451

表一七 健康相談總數

種別	團體數	檢診數	
集團的 健康 診斷	國民學校 中等學校 諸官衛 指定地區 部落 其他	8 4 2 3 1	7720 105 5226 295 110
小計	18	13456	
所內健康診斷		5103	
總計	18	18559	

表一五 家庭訪問 = 關スル表

	人員	訪問回数	摘要
結核患者 其他疾病患者	472 42	472 44	
妊產婦 乳幼兒	188 696	189 696	
計	1398	1401	

表一六 試驗及檢查件數 = 關スル表

	業務上利用件ノ	一般利用件ノ	計
尿糞	531	54	585
喀痰液	758	3056	3814
血清	85	1	86
文線	1162	845	2007
透視攝影	857	800	1657
其他	65	96	161
計	616	31461	32077
計	4074	36313	40387

其他中ツ反應 12091件
外=全種子防注射 13724件

M部落共炊前後健康診斷成績(共炊)

表一 8 人 180名受診者 126(男59 女67) 受診率 68.8% (前後通以)

病別	種別 性別	癒	輕快	不變	痊愈	増悪	計
結核	男			1			1
	女	2			①	1	① 3
高血圧	男	1		2		2	5
	女	3			①	7	① 10
腎臟炎	男			2	①	1	① 3
	女	1				1	2
脚氣	男	2		2			4
音異常 (除脚氣)	男	1		3	⑤	7	⑤ 11
消化器病	男			2	⑧	8	⑧ 10
	女			2		1	3
呼吸器病	男	1		1			2
	女	1					1
其他疾病	男			4	①	1	① 5
	女	5		3		1	9
胸廓異常	男			4			4
計	男	4		20	②	5	② 29
	女	13		9	⑤	26	⑤ 48
男女計	男女	17		29	⑦	31	⑦ 77

○印は痊愈者再掲

精製制中
今共卷号

表一 昭和三十七年度内健康相談者病類別一覽表

年令	男	女	計	%	乳		妊婦	總計	%
					數	%			
1--10	2	3	5	0.05	5	0.04		7	0.6
11	3	5	8	0.59				11	1.3
12	2	1	3	0.21				4	0.5
13	5	9	14	0.67	10	0.80	1	14	1.7
14	7	6	13	0.73				13	1.6
15	8	7	15	0.67				15	1.9
16	5	3	8	0.43				8	1.0
17	8	6	14	0.61				14	1.8
18	5	7	12	0.54				12	1.5
19	3	4	7	0.31				7	0.9
20	1	1	2	0.09				2	0.3
21	7	1	8	0.37				8	1.0
22	1	3	4	0.17				4	0.5
23	1	1	2	0.09				2	0.3
24	1	1	2	0.09				2	0.3
25	1	1	2	0.09				2	0.3
26	1	1	2	0.09				2	0.3
27	1	1	2	0.09				2	0.3
28	1	1	2	0.09				2	0.3
29	1	1	2	0.09				2	0.3
30	1	1	2	0.09				2	0.3
31	1	1	2	0.09				2	0.3
32	1	1	2	0.09				2	0.3
33	1	1	2	0.09				2	0.3
34	1	1	2	0.09				2	0.3
35	1	1	2	0.09				2	0.3
36	1	1	2	0.09				2	0.3
37	1	1	2	0.09				2	0.3
38	1	1	2	0.09				2	0.3
39	1	1	2	0.09				2	0.3
40	1	1	2	0.09				2	0.3
41	1	1	2	0.09				2	0.3
42	1	1	2	0.09				2	0.3
43	1	1	2	0.09				2	0.3
44	1	1	2	0.09				2	0.3
45	1	1	2	0.09				2	0.3
46	1	1	2	0.09				2	0.3
47	1	1	2	0.09				2	0.3
48	1	1	2	0.09				2	0.3
49	1	1	2	0.09				2	0.3
50	1	1	2	0.09				2	0.3
51	1	1	2	0.09				2	0.3
52	1	1	2	0.09				2	0.3
53	1	1	2	0.09				2	0.3
54	1	1	2	0.09				2	0.3
55	1	1	2	0.09				2	0.3
56	1	1	2	0.09				2	0.3
57	1	1	2	0.09				2	0.3
58	1	1	2	0.09				2	0.3
59	1	1	2	0.09				2	0.3
60	1	1	2	0.09				2	0.3
61	1	1	2	0.09				2	0.3
62	1	1	2	0.09				2	0.3
63	1	1	2	0.09				2	0.3
64	1	1	2	0.09				2	0.3
65	1	1	2	0.09				2	0.3
66	1	1	2	0.09				2	0.3
67	1	1	2	0.09				2	0.3
68	1	1	2	0.09				2	0.3
69	1	1	2	0.09				2	0.3
70	1	1	2	0.09				2	0.3
71	1	1	2	0.09				2	0.3
72	1	1	2	0.09				2	0.3
73	1	1	2	0.09				2	0.3
74	1	1	2	0.09				2	0.3
75	1	1	2	0.09				2	0.3
76	1	1	2	0.09				2	0.3
77	1	1	2	0.09				2	0.3
78	1	1	2	0.09				2	0.3
79	1	1	2	0.09				2	0.3
80	1	1	2	0.09				2	0.3
81	1	1	2	0.09				2	0.3
82	1	1	2	0.09				2	0.3
83	1	1	2	0.09				2	0.3
84	1	1	2	0.09				2	0.3
85	1	1	2	0.09				2	0.3
86	1	1	2	0.09				2	0.3
87	1	1	2	0.09				2	0.3
88	1	1	2	0.09				2	0.3
89	1	1	2	0.09				2	0.3
90	1	1	2	0.09				2	0.3
91	1	1	2	0.09				2	0.3
92	1	1	2	0.09				2	0.3
93	1	1	2	0.09				2	0.3
94	1	1	2	0.09				2	0.3
95	1	1	2	0.09				2	0.3
96	1	1	2	0.09				2	0.3
97	1	1	2	0.09				2	0.3
98	1	1	2	0.09				2	0.3
99	1	1	2	0.09				2	0.3
100	1	1	2	0.09				2	0.3
總計	1839	1985	3824	10.33	947	6.49	14	1356	26.57

表一 昭和三十七年度内健康相談者病類別一覽表

種別	種別	平均	平均	平均	平均	一人婦	總計	%
農村	農村	2.09	2.24	2.52	3.17	8634		
山間	山間	3.59	3.54	3.62	3.64	8214		
海岸	海岸	2.59	2.29	2.61	3.47	8699		
合計	合計	2.53	2.30	2.56	3.59	8624		

表一 111 昭和七年製用肥料の精製率及び肥料の種類別消費状況

肥料の種類	1月		5月		7月		12月		總計		計
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	
硫酸	58	44	102	119	82	201	177	126	303	303	
磷酸	250	217	467	445	261	533	341	470	1,133	1,133	
硝酸	310	166	476	292	274	541	339	301	2,970	2,970	
其他	189	181	370	255	204	412	201	251	2,310	2,310	
計	690	2,445	1,274	841	407	1,166	711	1,270	9,911	9,911	

表一 昭和三十七年 下野村混合人口検査(乳児体力検査=別紙)

性別	1					2					3					4					總計	男	女	總計
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計									
調査数	108	88	196	141	124	265	82	53	135	331	265	590												
標準人口	300	270	570	210	190	400	110	70	180	550	430	980												
差	-192	-182	-374	-69	-66	-135	-28	-17	-45	-219	-177	-390												
出生率	3.4	2.2	2.8	4.9	5.5	10.4	3.9	3.3	7.2	10.6	9.6	20.2												
死亡率	4.1	2.9	3.5	3.7	4.2	7.9	2.9	4.1	3.5	3.5	4.2	7.0												
合計	406	330	736	550	443	993	352	310	662	1740	1310	3050												

昭和三十七年 下野村混合人口検査(乳児体力検査=別紙)

性別	表 13												一 年 計	一 年 計	一 年 計	總 計	
	一月	二月	三月	四月	五月	六月	七月	八月	九月	十月	十一月	十二月					
男	13	24	20	14	13	14	11	9	10	8	8	6	32	10	19	34	
女	11	28	21	25	29	30	29	31	22	21	19	11	12	55	54	109	
計	24	52	41	39	43	44	40	41	32	29	27	17	44	85	73	143	
出生率	3.1	4.5	3.5	4.1	4.7	4.9	4.5	4.9	3.9	3.6	3.3	2.5	4.4	10.6	10.5	25.5	
死亡率	4.1	2.9	4.1	3.7	4.2	4.7	5.5	4.2	3.5	3.1	2.8	2.4	7.9	7.0	9.0	11.6	
合計	7.2	7.4	7.6	7.8	8.9	9.6	10.0	9.1	7.4	6.7	6.1	4.9	12.3	17.5	19.5	37.1	

要注意者一年以内三八。如一年以上一八六名

乳兒栄養方法

表 14

月別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	13月	14月	15月	16月	17月	18月	19月	20月	21月	22月	23月	24月	25月	26月	27月	28月	29月	30月	合計	計	男女計	
種別	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
母乳	31	27	12	19	105	97	78	93	84	90	113	119	119	124	130	128	106	121	159	80	88	90	77	100	121	133	1	1	1528	1518	3046			
混合	9	5	22	12	13	19	33	23	42	20	30	28	16	43	41	49	31	40	37	23	22	19	33	31	14	16	2	495	406	901				
人口	3	2	4	5	2	9	5	9	9	9	25	14	15	19	15	8	18	15	25	7	10	10	12	18	66	57	209	182	389					
計	43	34	118	28	220	103	116	129	133	119	148	137	138	164	163	115	115	111	110	120	119	118	144	115	141	3	2230	2106	4336					

表-132

地域別乳兒營養表

区	種別	標準化率		標準化率		標準化率		標準化率	
		10%	10%	10%	10%	10%	10%	10%	10%
計	計	5.47	16.26	2.41	2.93	2.47	2.47	0.04	0.04
東部	東部	8.06	15.35	4.35	3.18	3.29	2.29	0.06	0.06
西部	西部	7.93	14.85	4.59	3.57	3.97	2.97	0.19	0.19

年次	腸炎	赤痢	ジフテリア	猩紅熱	流行性瘧疾	計
昭和4-13	55	41	17	85	0.18	95.93
昭和14	35	11	7	06	0.03	72.37
昭和15	23	06	11	06	0.06	42.47
昭和16	48	07	15	48		52.45
昭和17	34	03	14	47		52.44

年次	赤痢	ジフテリア	猩紅熱	流行性瘧疾	計	百日咳	麻疹
昭和4-13	3.65	0.41	0.02	0.03	4.53	1.16	0.41
昭和14	5.37	0.74	0.06		6.56	2.29	1.92
昭和15	6.66	0.31			4.59	0.56	0.12
昭和16	3.30	0.55			4.14	9.3	0.62
昭和17	3.34	4.32			4.89	24.33	1.01

年次	赤痢	痢疾	ジフテリア
昭和4-13	1.26	6.70	1.5
昭和14	1.42	1.05	2.78
昭和15	1.47	2.66	3.3
昭和16	1.8	4.5	2.8
昭和17	1.6	4.5	3.2

年次	直接接種	市町村接種	計
昭和4-13	2400	25600	34000
昭和14	170	1000	1170
昭和15	260	1466	1726
昭和16	254	44	298
昭和17	24	2806	2830